

取組事例 人と人との交流・ふれあいプロジェクト等による移住定住の推進 (上砂川町)

上砂川町では、町内企業における労働力の不足や宿泊施設の不足による滞在人口の低迷が課題であることから、就業体験者や道内周遊観光客が低価格で宿泊可能なシェアハウスを整備し、企業での人材確保からの地域定着や町内滞在型観光の促進による交流人口の増加を目指している。

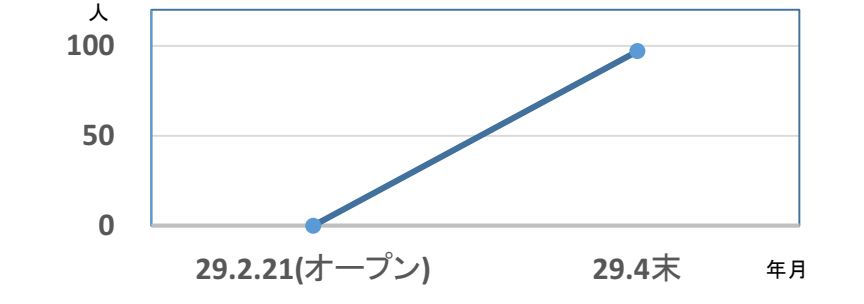
関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (H28)	目標値 (H31)	進捗率 (%)
20~30代世帯の移住促進	—	5世帯	15世帯	33.3
交流人口	93千人	101千人	103千人	98.3

取組の推進体制

(株)上砂川振興公社、障がい者福祉施設、上砂川商工会議所青年部から構成される「上砂川就業・観光コミュニティ」を立ち上げ、適切な役割分担の下、取組を効果的に推進

宿泊施設(シェアハウス)の利用者数



道内最下位の町内滞在人口(RESAS調べ)を打破するため、公営のシェアハウスという近隣にはない施設で交流人口増を目指す。

取組事例 宿泊施設の整備による交流人口の拡大など

宿泊施設の整備による交流人口の拡大

- 主な取組
 - ・旧児童館をリノベーションし、食事や談話のできる共有スペースと就寝や個々の時間を過ごせるプライベートスペースを兼ね備えたシェアハウスとして改築を図った。
- 今後の展開
 - ・就業体験を活用した企業の人材確保から地域への定着へと結びつける。
- 主な成果
 - ・オープンから約2ヶ月で、延べ97名(163泊)の施設利用があった。



広域連携・官民連携による移住定住の促進

- 主な取組
 - ・管内市町や道との連携による首都圏におけるプロモーション活動を展開した。
 - ・PR動画、しごとガイド、観光周遊パンフレットを作成した。
 - ・町内企業の職場環境、都市と田舎を共有した暮らしなどの情報を集約したサイトの開設による情報のワンストップ化を図った。
- 主な成果
 - ・これまで取り組んできた子育て支援など各種取組の成果を含め、20~30代世帯の移住や交流人口の増加などが見られている。

